

会 議 録

|                    |   |         |     |
|--------------------|---|---------|-----|
| 会 議 名              | 第 3 5 期小金井市公民館運営審議会第 1 7 回審議会   |         |     |
| 事 務 局              | 公民館   |         |     |
| 開 催 日 時            | 令和 3 年 9 月 8 日（水）午前 1 0 時 0 0 分から午前 1 1 時 0 0 分   |         |     |
| 開 催 場 所            | 小金井市役所第二庁舎 8 階 8 0 1 会議室  |         |     |
| 出 席 委 員            | 國分委員長 渡邊副委員長 浅野委員 菅沼委員<br>杉山委員 畠山委員 嵯峨山委員   |         |     |
| 欠 席 委 員            | 増山委員 新井委員   |         |     |
| 事 務 局 員            | 鈴木公民館長 中川庶務係長 大久保事業係長 落合事業主査 山崎緑分館長   |         |     |
| 貫井北・東分館事業運営受託者     | 村山貫井北分館長 鈴木東分館長   |         |     |
| 傍 聴 の 可 否          | 可   | 傍 聴 者 数 | 0 名 |
| 傍聴不可・一部不可の場合は、その理由 |   |         |     |
| 会 議 次 第            | <p>1 報告事項</p> <p style="margin-left: 20px;">ア 都公連委員部会運営委員会について</p> <p style="margin-left: 20px;">イ 公民館事業の報告について</p> <p>2 審議事項</p> <p style="margin-left: 20px;">ア 公民館事業の計画について</p> <p>3 その他について</p> <p>配付資料</p> <p>送付資料</p> <p style="margin-left: 20px;">(1) 第 1 6 回公民館運営審議会会議録</p> <p style="margin-left: 20px;">(2) 都公連委員部会運営委員会について（嵯峨山委員作成）</p> <p style="margin-left: 20px;">(3) 公民館事業の報告</p> <p style="margin-left: 20px;">(4) 公民館事業の計画</p> <p style="margin-left: 20px;">(5) 意見提案シート（令和 3 年 7 月 2 1 日分）</p> <p style="margin-left: 20px;">(6) 月刊こうみんかん No. 5 2 0、5 2 1</p> <p style="margin-left: 20px;">(7) きたまち空間第 6 4 号</p> <p style="margin-left: 20px;">(8) KITAMACHI ユース Vol. 5 6</p> <p style="margin-left: 20px;">(9) 図書館だより第 6 3 号</p> |         |     |

## 会 議 結 果

國分委員長 定刻になりましたので、第35期小金井市公民館運営審議会第17回審議会を始めさせていただきます。よろしくお願ひします。今日は久しぶりに晴れて、校長先生もお忙しい中、ありがとうございます。最後なのに、ちょっと出席者が少ないのが残念ですが、よろしくお願ひします。今日も会議時間は1時間ぐらいにしたいということですので、よろしくお願ひいたします。

中川庶務係長 おはようございます。庶務係長です。久しぶりに会場で開催できてよかったなと思います。

送付した資料の確認をさせていただきます。送付資料(1)が第16回の会議録、送付資料(2)が嵯峨山さんにお作りいただいた都公連委員部会の報告、送付資料(3)が公民館事業の報告、送付資料(4)が公民館事業の計画、意見提案シート、月刊こうみんかん No. 520、月刊こうみんかん No. 521、きたまち空間第64号、KITAMACHIユース vol. 56、図書館だより第63号、以上が に郵送でお送りさせていただいた資料になりまして、本日、机に幾つかまた資料を追加で配付させていただいております。

とうきょうの地域教育 No. 143、第43回全国公民館研究大会・第61回関東甲信越静公民館研究大会山梨大会のチラシ、第35期小金井市公民館運営審議会の活動報告、以上になります。お手元に資料が足りない方はいらっしゃいますか。

鈴木公民館長 公民館長です。会議録の承認に関しまして、第16回審議会の会議録を委員の皆様にはすでにお配りしているところですが、特に御意見等なければ、承認ということによろしいでしょうか。ありがとうございます。

### 1 報告事項

#### ア 都公連委員部会運営委員会について

國分委員長 それでは、報告事項から。嵯峨山さん、よろしくお願ひします。

嵯峨山委員 8月は公運審がなかったもので、その間、都公連は運営委員会が2回ありました。

委員部会第1回研修会が9月11日ということで、7月29日では会場参加、オンライン参加、それぞれ人数を決めてやろうとしていたんですが、8月25日で緊急事態宣言が発令中でもあるということで、かなりの委員の方がやるべきではないということでしたが、中止ということではなく、どうしても菅沼さんのお話を聞きたいというのが全員の意見でして、期間は延長ということで、日程は未定なんですけれども、今後、検討していきたいということです。

来年2月5日に第58回東京都公民館研究大会がありますので、基調講演はオンラインということになってるらしいですが、各課題別集会、第4課題別集会というものが委員部会の担当になっておりまして、ここでやるかどうかということは、今、検討しております。

ただ、9月15日、これが企画委員会でこの課題別集会がどうなるか

ということが決定するというので、都公連のこの会議も9月11日のこの発表の後にやる予定だったんですけれども、これを9月29日に繰り下げて検討することになっております。

それから、1番(2)なんですけど、都公連の委員さんの出席について、狛江市、それから西東京市が1人の方がずっと継続して出席できないということで、狛江市についてはお二方で、どちらかが都合がつけば出ると。それから、西東京市については、往復3時間ということで、なかなか来られないと。だから、出られる人が出ると。事案の継続性という意味では非常に問題があると思ったんですけれども、このまま委員会部会を脱退されるよりは、何らかの形で出席していただいて、これを認めるということになりました。

國分委員長      ありがとうございました。

畠山委員      嵯峨山委員、それは引継ぎでやってくればそのまま流れてきますよね。

嵯峨山委員      引き継いだんですけれども、やっぱり出席していただかないとその空気とかですね、その辺りが分からないんですよ。

畠山委員      それはそうですよね、雰囲気がありますからね。

嵯峨山委員      文章だけで、本当にそれがうまく伝わるのか。

畠山委員      なるほどね。はい。分かりました。

菅沼委員      菅沼です。今に関連して、委員部会の委員が都合によって輪番制になるのか、それとも市として、だんだん力を抜いていこうとそういう裏があるのか、その辺はどうでしょうか。

嵯峨山委員      狛江市が4月から出てこられなかったんです。6月から一応お一人が出てこられるようになって、それで2人体制でやっていきたいんだというお話があったんです。西東京市からはずっと継続して出られないというような発言がありまして、それで検討した結果、共同体制あるいは輪番制でもいいから、とにかく継続してもらいたいという形になりました。

菅沼委員      多摩には26市あって、そのうちで今もう11市しか都公連に入っていないんですよ。あと2つが何か表面はそうだけれども、やっぱり狛江市はできるだけ公民館からもう抜きたいという意思が大分あるし、それから、西東京はそんなことがないと思ったんですけれども、そんな感じなんですかね。

嵯峨山委員      委員さんによってちょっと違うのかなというふうに思っているんですけれども。

菅沼委員      何とかこの2市は都公連としてはとどめてほしいなと、お願いしたいですね。もうだんだん、もうこれであと2市なくなったら、26市の9市しかないって言ったら、いわゆる東京都の公民館活動というのは非常に問題ですよ、その辺は危機感を持って引き止めていただきたいと思いますね。

國分委員長      ありがとうございました。ほかにありますか。

では、嵯峨山さん、どうもありがとうございました。

イ 公民館事業の報告について

- 國分委員長 次に、公民館事業の報告についてです。  
大久保事業係長 事業係長です。それでは、送付資料（3）を御覧ください。今回は、本館を除く4公民館から御覧の7事業を報告しております。詳細は1ページから7ページを御覧ください。
- 國分委員長 内容についての御感想とかはありますか。  
菅沼委員 東分館の行ってみたい中央ヨーロッパの世界遺産、それから緑分館のハンガリーってどんな国ということで、これは従来から非常に人気講座なんですけれども、やっぱりコロナ禍でなかなか海外旅行に行けないということもあって応募が非常に多いなというふうに思っております。  
ただ、東分館さん、これは延べ参加数が30人というのは間違いはないんですか。これは応募数が45人で、募集が20人ですよ。これは2日あって、30人の参加者というのはちょっと少なすぎるのではないかなど。何かあったんですか。
- 鈴木東分館長 東分館から御説明します。こちらにつきましては、緊急事態宣言が7月12日に発令されたことによって、初回は13日でしたのでほとんどの方が出席していただいたんですが、状況によって2回目を欠席する方が多かったという感じで30人になりました。ただ、来ていただいた方は非常に喜んで世界遺産の学びで、旅行気分にも浸れたというようなことを言われた方が多かった講座でした。
- 杉山委員 杉山です。貫井北のSTEM教育プログラムについて教えていただきたいです。
- 村山貫井北分館長 貫井北分館です。最近、STEM教育であったり、STEAM教育という、これにSTEMにアートが入ったものが文科省を含む全世界的に取り組まれていて、STEM教育というものは理科、技術、エンジニアリング、算数という、今までは縦割りだったものが、一つのセットとして取り組み、相乗効果として発揮するということが全世界的に取り組まれていて、これにアートが入ると、さらに学習効果が上げられるということがあるんですけれども、今回はSTEM教育として、そこに書かれている学芸大のこども未来研究所のインストラクターの先生方から機材とタブレットを無償で貸していただいて、プログラムという一つのテーマを通じて行いました。
- 杉山委員 本来はこれにアートが入るのですか。  
村山貫井北分館長 今回はSTEM教育ということでアートは入れていないです。
- 杉山委員 そうすると理系の感じですか。プログラミングで自動運転に挑戦する、では、また、次もあるということですか。これは、これから回を重ねてやっていくんですか。
- 村山貫井北分館長 今のところ予定はしていません。  
國分委員長 学大にこども未来研究所というものがあるんですか。  
村山貫井北分館長 はい。  
國分委員長 ありがとうございます。

それでは、公民館事業の報告について、ほかになれば、以上で。

## 2 審議事項

### ア 公民館事業の計画について

國分委員長 審議事項に移ってよろしいですか。公民館事業の計画について。  
大久保事業係長 事業係長です。お手元の送付資料（4）を御覧ください。今回、本館、貫井南分館及び東分館の3公民館から合計9事業の計画を提出しております。

1点、申し訳ございません。訂正をさせていただきたいのですが、下から2番目、東分館の利用団体のつどい第33回東センターまつりですが、講師のバイオリン奏者の方は、御登壇を御辞退されていますので、ここは削除してください。

以上、御審議よろしくお願ひしたいと思ひます。

國分委員長 ありがとうございます。残念ですね。辞退の理由というのは分かりますか。やはりコロナとか。

鈴木東分館長 東分館、鈴木です。依頼した当時は、若干コロナの緊急事態宣言もなく、落ち着いていたんですけども、8月の下旬ぐらいになって非常に感染が増えてきた関係で、奏者のほうからできればこういう状況なので辞退をさせていただきたいというような申出がございました。そういったことで、祭りの実行委員の会長とも相談しまして、今回は見送るということになりました。

菅沼委員 この先生の演奏を見送るのか、センターまつり自体をやめるのか、どちらですか。ちょっと分からなかったの。

鈴木東分館長 イベントそのものを見送る、中止するということです。

菅沼委員 このコンサート抜きでこの東センターまつりは予定どおりやりますと、そういう理解でいいんですね。

鈴木東分館長 はい。

菅沼委員 分かりました。

國分委員長 代替って出てこないんですか。演奏者とか。

鈴木東分館長 代替案はその場で検討いたしました。何人かの奏者の方にも当たったんですけども、どうして今のオファーなんですかというようなことを聞かれまして、内定していた奏者の方から辞退があったというようなことを申し上げますと、そういった状況ですと私も今回はということ。

國分委員長 残念ですね。御質問等ほかにありますか。事業計画については以上でよろしいですか。

大久保事業係長 裏面につきましては、市民アカデミーの秋期がこれから始まりますので、計画にも載せさせていただいておりますが、その詳細のプログラムを御参考までにつけさせていただいております。

菅沼委員 市民アカデミーは、結局申込みは何人ぐらいに今なっているのかということと、それからリモートでやるんですね、その辺のちょっと内容を説明していただけるとありがたいです。

落合事業係主査 事業係主査です。ただいま委員から御質問がございました秋期の申込

み状況ですが、32名の申込みとなっております。実際、定員が25名です。7名の方がキャンセル待ちという形で昨日対応させていただいたところでございます。

また、今、お話いただきました取組みに関しましては、準備会の方のお力をおかりして試行的に隣のお部屋でネットワーク通信を行って画像を見ていただくというような形をやらせていただきました。

今回につきましては、今度は市が持っておりますwebexというネットワーク通信機器、こちらを利用して、まだちょっと試行の段階ですので、こちらは先日、資料と一緒に送りさせていただきました公運審の皆様、そして、その主催館でございます本館の企画実行委員と準備会の皆さんに、こちらの講座を実際にインターネットで見させていただいて、ちょっといろいろと御意見をいただこうかなというふうに考えてございます。

菅 沼 委 員 長 公民館中長期計画で、今後ICTの推進というものがありましたね。その一つの先駆けだと思っておりますので、ぜひ今回ものにして、来年度以降、そういう講座も幾つか入れてほしいなという希望です。

國分委員長 ありがとうございます。では、今の御意見を取り入れていただいて。鈴木公民館長 菅沼委員から御指摘のように、中長期計画の中でICTの推進ということが明確に位置づけられています。行政のほうもいろいろ研究しながら、積極的に取り組んでいきたいというふうに考えてございます。

國分委員長 では、その方向でよろしく願いいたします。

### 3 その他について

國分委員長 審議事項はあつという間に終わりですけれども、その他でいろいろお願いしてもいいですか。

中川庶務係長 庶務係長です。市民アカデミーの件に関して、御参加いただけるということでお返しいただいた方、ありがとうございました。結局使うのは、この間まで公運審で使っていたwebexと同じシステムです。使い方としては招待メールが来るので、時間になったらクリックしていただいて、入っていただいて、画面を見て、質問タイムとかはどのようなふうにするのかという感じなんですけれども、参加していただくということなのかと思います。よろしく願いします。

次に、お配りした意見提案シートを御覧いただけますでしょうか。こちらは、第16回審議会に傍聴にいらした方から御提出があったシートですので、本日の審議会に配付しているものになります。

この意見提案シートについては、匿名で御提出いただいた場合は、次の審議会に資料として配付するという位置づけになっております。意見提案シートは公運審だけではなく、市でやっている全ての審議会、委員会で配付しているものなんですけれども、書かれたことの内容について審議の対象としている審議会もあるんですけども、公運審ではどうされるんですかというようなことを御発言いただいております。

あとは、子どもの人権講座について御意見をいただいているところなんですけれども、この意見シートの取扱いについては、今回、第35期

が最終回ですので、こちらについては、このような意見を傍聴の方からいただきましたという皆さんへ共有になりまして、今後、この意見提案シートを公運審で審議の対象にする、しないというような検討については、第36期から改めて検討したいというふうに考えております。

以上になります。何か、御意見がございましたらいただきたいと思えます。

國分委員長 それでよろしいですか。今までは、一応、議題のほうを中心に、その場ではこれを取り上げていなかったんですけども。

中川庶務係長 今まで何回か意見提案シートをいただいたことがあると思うんですけども、審議となると、公運審としてAかBかとか、イエスかノーかみたいなことを決定する内容になるので、協議の内容かなというような扱いを今までしていたと思うんですけども、今回、また改めて御意見はいただいたので、第36期の審議会でどのように扱うか、第36期の皆さんで考えたいというふうに思っております。

菅沼委員 今回の意見シートについては、前回の議事録の9ページで、私はこういうふうにするべきだと意見を述べていますので、参考にしてください。

中川庶務係長 ありがとうございます。それでは、事務連絡になるんですけども、本日、机の上に置きましたA3裏表の第61回関東甲信越静公民館研究大会のチラシを御覧ください。

これは毎年大体秋ぐらいい関東甲信越静のいろいろな自治体で持ち回りで開催されていた公民館研究大会です。去年もコロナで開催できなくてインターネットでの配信ということになりましたが、今年度もやはり現地での開催は難しいという判断に至られたようで、表に書かれているとおり、10月29日以降、インターネットで配信するので、無料でもどなたでも御覧になれますという案内になります。

どこかにホームページのアドレスが書いてあったかな、10月29日以降、関東甲信越静公民館研究大会ということで検索をかけていただければ、多分、動画の画面に飛ぶと思いますので、関心のある方はぜひ御覧ください。

研究大会分科会も用意されておりまして、この内容について、紙資料として取りまとめたものを有料で販売しているようです。この資料が欲しい場合は御自身で1,000円御負担していただいて買っていただくということになりそうです。

申し訳ない。こちらは記録集の申込期日が10日までになっておりますので、欲しいなと思う方はちょっと急いでお申込みをしていただけたらと思います。資料集の申込みの方法は裏に書いてあります。

今回はコピーで配付させていただきました。チラシが10枚しか届かなくて、数が足りなかったもので、コピーを配付させていただいた次第です。

引き続き、嵯峨山委員から先ほどちょっと説明がありましたけれども、都公連が開催する東京都公民館研究大会の件について、現状で決まっていることについて御報告させていただきます。

今年度は小金井市で公民館研究大会が開催予定です。私のほうで駅前の

交流センターを押さえているんですけども、コロナの状況がよくなっていて、会場で開催するのであれば、2月5日を予定していたんですが、状況が非常に悪くなる一方でしたので、もうオンライン開催にしようということで、ほぼ決定の流れです。9月15日に担当の市で集まりまして、オンライン開催で準備を進めようということで決定する予定です。

そのほか、嵯峨山さんが参加していただいている委員部会さんの第4課題別集会をどこでどのようにやるかとか、ほかの課題別集会、これまでは、どこかの市に集まって、午前中は基調講演、午後は多少分かれて課題別集会というふうにやっていたんですけども、それを今までとは違うやり方でやろうというふうに考えておりまして、果たしてオンラインになるのか、それとも1か所に集まれないからばらばらに集まろうかとか、そういったことも9月末までには決定、9月15日には方針を決定したいというふうに考えております。

やり方とか、参加方法とかが決まりましたら、皆様にまたチラシのような形でお知らせしたいと思っておりますので、せっかく今回、小金井市が会長市になりましたので、御参加いただけたらなと思っております。

以上です。

國分委員長 ありがとうございます。

中川庶務係長 最後に追加でもう1点あります。事務連絡なんですけれども、本日、第35期の最終回ですが、年末に皆様に源泉徴収票を配付させていただきます。これは、2021年1月から今日までの分についての源泉徴収になりますので、確定申告等される方は、その源泉徴収票を使っていたらなと思っております。

國分委員長 ありがとうございます。

次の引継ぎの確認というか、気になっているんですけども、渡邊さんが提案してくれた、会合の後に何をやろうということでしたっけ。

渡邊副委員長 分科会みたいなものですよ。細かい説明とか、事務局の方と一緒に、この会では時間の制限があるので、そういったものを提案しましたが、コロナが増えてきてしまって。

國分委員長 提案の後に1回もやれていないんですよ。

渡邊副委員長 菅沼さんが参加されたぐらいで、ほとんど実現できなかった。

中川庶務係長 庶務係長です。企画実行委員とか、準備会の在り方について、分科会のような形で、有志が集まって検討しようとしていたんですけども、何せ「集まるな」というような状況になってしまっており、実施できていないのかなというところですよ。コロナの状況をにらみながら、集まれみたいな招集がかけられるときにぱっと集まれるようであれば、そういう分科会のような形で検討を続けてみたいなと思っております。

渡邊副委員長 緊急事態宣言の延長ということが言われているので、未確定なので何とも言えないところなんですけれども、コロナが完全になくなれば、そういったことも現実的にできます。

國分委員長 では、やる方向でお願いしたいと思いますけれども。

渡邊副委員長 行おうと思っておりますけれども、いつというのはちょっと難しいかも

しれないですね。

中川庶務係長 緊急事態宣言中はなるべく集まるなということなので、ちょっと難しいのかなとは思いつつ、今日は最後の回なので集まってしまったんですけども。

國分委員長 そうですね、御苦勞されたと思いますけれども。

中川庶務係長 よろしくお願いします。

國分委員長 こっちの、今日いただいた資料では何かコメントとかありますか。

これは、浅野先生は何かありますか。

浅野委員 本校も今年度からコミュニティスクールを運行しまして、地域の方々と一緒に教育活動を進めてきていますけれども、これを見ますと、さらにそこからまた広がって、学校プラス地域の方々とコミュニティハウスというものをつくって、そこを拠点にしようというようなことですね。また、新しいところに清瀬中学校ですか、学校の敷地内にコミュニティハウスが実際に建っておりますので、そこがまた面白いと思いますね。

学校の施設というものは非常に限られていまして、特に、小金井市は御存知のとおり、流入人口が非常に多くて、小学校はどこも教室が全く足りない状況で、何とか増設してほしいということをお願いしているところですが、空きの部屋が本当にないんですよ。そういったときに、清瀬中学校の学校の敷地内にコミュニティハウスというものを別で建てているというのは、非常に興味深いですね。面白いなと思って拝見していました。ありがとうございます。

國分委員長 やろうと思えばできなくはないんですか。

浅野委員 元手が要りますので、それは何とも言えないです。学校施設だけではなくて、学童クラブも満杯なんですよね。児童数が増えれば学童に入所する子供も増えますから、本校も今年度から教室の一部を放課後、学童に貸しているんですよ。学童クラブだけでは教室が足りない、そこほどの学校も共通の悩みなんです。

國分委員長 そういう状況がありますと。ありがとうございます。

よろしいですか。何か。あとはあれですか、皆さんの御感想。

一応、今期の活動報告を出していただいております。後ろのほうに皆様の御感想とか、次期の方への希望とか、そういうものもあります。そうしたら、皆さんにお話ししていただいて。

中川庶務係長 一言ずついただけたらと思います。

國分委員長 菅沼さんから、よろしいですか。

菅沼委員 私の思っていることは一言では終わらないんですが、すいません。

私は会社生活が終わってから何をやろうかなと考えたときに、地元を目を向けようとか、人との交流を盛んにしようとか、そういうことを頭に置いていました。そのときに知ったのが公民館活動で、その後、準備会の委員とか企画実行委員が6年、それからNPO法人が1年理事をやりました。それから、公運審が6年ということで、今回その公運審も終わりました。15年、基本的には公民館活動に付き合わせてもらいました。私自身は生活の一端になるほど没頭したつもりです。その間に、今回の公運審

の委員はじめ、職員の方、あるいは市民の方と非常にいろいろつながりができて本当によかったなと私自身は思っております。そういうことの御礼も兼ねて、今回、例の都公連の発表しようという資料を作りました。ですから、一度、皆さん、御参考に見ておいていただけるとありがたいと思います。

今後、公運審に望むことということを書けということだったので、私は公運審の仕事としては館長の諮問に応じて事業の企画、実施については審議調査をするというのが大きな目的なんです、それだけではないだろうと、やっぱり市民の声を捉えて、それを公民館活動に生かすようなパイプ役を公運審の委員にはやってもらいたいということ、それから、具体的には、公民館中長期計画ができました、10年後のあるべき姿というものをこの計画には書いていますが、具体的な案はこれからです。その辺の具体的な案をできれば公運審の中でさらに精査して、具体化してほしいなど、それが次期の公運審委員の皆様に対するお願いでございます。いろいろお世話になりました。ありがとうございました。

國分委員長  
嵯峨山委員

ありがとうございます。嵯峨山さん。

私は公運審が1期目ということで、企画実行委員は6年やったんですけども、やはり全然違うなど。実際に講座を企画したり、運営をしたりすると、審議をするというのは視点が全然違うということで、非常に戸惑いを受け、なおかつ第34期から中長期計画が進んでいると、その検討に入って、その途中に入ったものですから、その経過とかあるいは公民館のいろいろな関連の歴史とか、そういうものについて全然積極的に関与できなかったということは反省ですし、また、反対にそれを教えていただいたことによって、私自身もかなり勉強になりました。

それと、昨年6月から菅沼さんから都公連の引継ぎということで参加させていただいているんですが、当市を含めて11市との委員さんとの交流というものも非常に勉強になりますし、菅沼さんからも勉強になるからということで、突然言われたものですから、私としてもどうしたらということで、本当に入ってどういう感じで対応したらいいのかなというふうに思っていたんですけども、回を重ねるごとに人とのつながりというか、コミュニケーションを取れるようになりまして、何とか小金井市とのつながりということでやっております。

今、菅沼さんがおっしゃったような中長期計画の具体化ということについて、今後、考えていきたいなというふうに思いました。どうもありがとうございました。

國分委員長

よろしく申し上げます。ありがとうございます。

杉山委員

杉山さん、いいですか。

4年間本当に皆様にお世話になりました。ありがとうございました。私は、公民館はただの利用者でしたので、先ほど嵯峨山さんがおっしゃったように、審議するということに対する戸惑いというのは確かに大きかったと思います。

公民館は職員、公運審、企画実行委員会のみならず、多くの市民の人た

ちの理解と協力で成り立っているということを改めて深く感じました。この後もインターネットを活用するとか、時代に合わせて変わっていく公民館を目指すということも大事なんですけども、七十数年前に設立された公民館の意義とか、理想みたいなものも忘れずに、二つ併せて公民館が発展していくように願っています。このことは2つとも、公運審が終わった後も市民として考えていきたいなと思っています。

國分委員長      ありがとうございます。よろしくお願ひします。

                  畠山さん、いいですか、お話ししていただいて。

畠山委員      前回、レポートには真ん中のほうにメッセージはもう書いたんです。それをここでまた読んでもあまり意味がないので、それをお読みいただければ、公民館の歴史、北町公民館ができてどうなったかと、その中でもって今の公民館がどうなっているのかと、これからどうしていかなければいけないかということを私なりに書いてあります。だから、それをまたここで読み返しても意味がないので、後ほど読んでいただければと思います。

國分委員長      どうもお疲れさまでした。ありがとうございます。

渡邊副委員長    渡邊です。私は商工会から出向させていただきまして、2期がちょうど終わります。商工会では、市民ホールに8メートルぐらいのティラノサウルスを呼んできて、子供たちに物づくりに対して興味を持ってもらおうというイベントを3年間、実行委員長としてやってきましたが、公民館ですと立場が違ってしまっていて、見たい人が自らつくるのですか、逆のパターンが多いということに気がつきました。市内には5館公民館がありますが、コロナになって、家から割合近くに公民館があるメリットが再発見できたと思います。遠くまで行くとなると大変ですけども、歩いて何分かというところに公民館があって、自ら望むものを企画したり、教育の場というか、理解することができる場合は、コロナによって再発見できたというふうに前向きに捉えていただければ、今後、コロナが終わったとしても公民館の活動の場が広がると思います。期待しておりますので、よろしくお願ひします。

國分委員長      ありがとうございます。私はいろいろ本当に勉強になった6年間でした。思えば着任時、皆目見当がつかず、かつて公民館の利用も殆どしてませんでしたので、公民館の歴史とかも認識がなかったものですから、非常に戸惑いました。それでまず貫井北センターの村山氏を訪ねまして、公民館の理念などを教えていただきました。それから公民館の存在意義に目覚めまして、もっといろいろ各館に伺い勉強しなきゃと思いつつも、あっという間に時間が経っています。その中で、感想にも書きましたが、やはり何と言っても、スタッフの方々のご努力というものを体感しましたことと、市民の方々も積極的にいろいろやっておられることを知りました。ですから、審議するという資格はなかったかもしれませんが、やらせていただいて光栄に思います。菅沼さんがいろいろ提案してくださって、15年間の経験がそういう構想とか提案に出ておりましたので、非常によい審議会が進められたなと思って感謝しております。

ここにちょっと全国大会のチラシが来ていますが、私はこの前の前で  
すね、3年前ぐらいになるんですか、宇都宮で開催された大会に出席さ  
せていただいて、大変刺激を受けまして、そのときに分科会がたくさん  
あったんですけれども、一つは学校とのさっきのコミュニティスクール  
ではないんですけれども、日光の人のお話とか、学校をお借りして、中  
に地区の作家の作品を飾るギャラリーをつくったり、それからサマース  
クールとして宿題を見てやったりとか、水遊び大会とか、いろいろなも  
のを企画されて、ゴルフの体験もさせたり、学校との協力で大変だった  
と思うんですが、そういう事例も知りました。あとは、渋沢栄一が今、  
有名ですけれども、深谷市の八基公民館の事例は、渋沢栄一が好きだっ  
た深谷鍋というんですかね、ほうとう鍋を年に1回、公民館で食べる  
という会があるそうなので羨ましいなと思いました。公民館自体がそれ用  
に調理器具とか、あと床もコンクリートにして汚れても洗えるようにと  
か、そういう施設を持っているのが羨ましいなと思ったんですけれども、  
そこの八基公民館の考え方としては、町会も公民館の分館という認識に  
してるんですね。だから、町会と学校と公民館でフリンソウというすご  
く栽培が難しい植物のようなんですけれども、それを町中で栽培して、  
展示をするというような試みもされているようで、それも30年以上続  
いているという話でしたが、地域性もあると思うんですが、やっぱり市  
でそういうまとまりがある活動ができるって羨ましいなと思いました。

長野県のある自治体では学校の先生が一度公民館に入る仕組みがある  
らしくて、それでまた戻ってくるという、そういうものがあるというの  
もちょっとびっくりしました。

最後、懇親会がありまして、宇都宮名物の餃子は知っていたんですけ  
れども、バーテンダーの大会で優勝したりしている人からのカクテルの  
提供とか、ジャズの生演奏もすごいレベルのものがあって、おもてなし  
を受けて、忘れられない経験でした。

以上で、長くなって申し訳ないんですけれども、最後に村山さんから  
最初に教わった「誰でも、いつでも、自由に、平等に受け入れる」とい  
う公民館の理念というものが焼きついております。以上です。いろいろ  
お世話になりました。

浅野委員

浅野です。校長会から出させていただいているんですけれども、水曜  
日の午前中は結構、校長会等、会議が入ってしまして、大変欠席が多くて  
申し訳ございませんでした。

公民館運営審議会で様々な資料を拝見したり、お話を聞いたりして、自  
分自身の公民館との関わりというのは少ない経験でしかないんですけれ  
ども、私は小平市民なんですけど、子供が小さかったときに、小平市の中央  
公民館で子ども映画会というものを毎月やっていたんです。そこに必ず  
連れていっていました。子供たち、2人とももう成人しているんですけれ  
ども、一緒に映画を見たというのはすごく楽しかったなと思い出に残っ  
ています。公民館は非常にありがたかったなというふうに思っています。

それから、愛知県の豊橋市に80代の母親が1人で住んでいるんです

けれども、豊橋市の公民館で講座として子供のための料理教室をかつてやっていました。管理栄養士だったものですから、料理が得意でして、小学校の子供たちを集めてお料理教室というものをやっていたんです。そういうことを思い出しながら、毎回、非常に興味深い取組があるなということをお聞きしておりました。

小金井市としましては、昨年度、緑小学校がコミュニティスクールになりまして、本校と前原小と南中学校が今年度からコミュニティスクールに、地域学校協働体で、地域の方と一緒に学校の教育活動を進めていくという取組なんですけど、あと2年後までには市内小中学校、計14校ですけれども、全校コミュニティスクールに移行する予定です。そういったときに、学校と公民館も含めた地域の方との協働的な活動というものをもう少し何か広げていけないかなというのを参加した中では毎回自分なり考えてお話を聞いていました。

それをこれからも模索していきたいなというところと、本校は、来年度開校150周年記念行事を控えております。それに向けて、今、物置状態になっている資料室を大きく整備しまして、この9月3日に保護者や地域の方にお手紙を配付して、その資料室に展示できるものを貸していただけないか、あるいは寄贈していただけないかということの呼びかけを始めました。

さらに、市の生涯学習課の学芸員の方もその資料室整備にお力をかしていただけるということですので、来年度に向けて整備していったって、地域の方に資料室を自由に見学していただけるようにしたいなと思っております。もちろん、できましたら皆さんも来ていただいて結構なんですけど、そんなことも考えながら、今後も頑張っていければということです。

あと、学校としての様々な取組、先ほど、施設設備状況が今、厳しい、あるいは学童クラブとの併用というお話もしましたけれども、そういった学校としての提供できる情報につきましては今後も機会がありましたら提供させていただきたいなというふうに思っております。

出席が少なく大変申し訳なかったですけども、大変勉強になりました。ありがとうございました。

國分委員長      ありがとうございました。本当に先生のお話は私も興味深く聞かせていただけていました。館長。お世話になりました。

鈴木公民館長      では、私から一言、お話しさせていただきます。自分は今年の4月に公民館長を拝命いたしまして、社会教育の分野というのは市役所入ってから初めての経験でありました。それで公民館についてのイメージをあまり持っていなかったんですが、公民館の様々な活動が市内で市民の皆さんに支えられながら活発に行われているというのを初めて知ったとか、知ることができてよかったなというふうに思っています。

自分の役割としましては、先ほど菅沼委員からもありましたように、中長期計画が第34期、第35期の2期の皆さんにたたいてつくっていただいたという重要な計画が自分が着任した今年からの計画ということで、その着実な進捗というんですか、実現というものが役割なのか

なというふうに思っています。

その役割を果たしていく上で、公民館運営審議会の皆さんの御意見やあるいはいろいろな御要望等も含めて、取り入れられるもの、取り入れられないもの、いろいろあるかと思えますけれども、そういうものをより御意見を聞きながら進めていくことが、来期、第36期の皆さんと公民館と事務局で一緒にやっていくことなのかなというふうに思っています。

今、第35期の終了に当たりまして、様々な御意見とか御感想をいただきましたが、皆さんのお気持ちとしましては、公民館の重要性であったりとか、これからの在り方についてお話をいただけたと思っておりますので、そういうものを踏まえて、これからも進めていきたい、こういうふうに考えてございます。

自分としては短い期間ではありましたが、非常に大変お世話になりました。引き続き、よろしくお願ひしたいと思ひます。ありがとうございます。

國分委員長      ありがとうございます。皆さん、もし、時間がよろしければ、一言ずつでも。事業係長、いろいろ大変だと思いますけれども。

大久保事業係長      第35期の委員の皆様、大変お疲れさまでした。ありがとうございます。また、長期、委員をお務めの方、ここで任期満了で御卒業される方、長期間大変お疲れさまでした。第36期に引き続き、委員になられる方、また御指導、御鞭撻、どうぞよろしくお願ひいたします。

國分委員長      ありがとうございます。そちらから。

村山貫井北分館長      貫井北分館の村山です。本当に今までありがとうございます。貫井北センターもおかげさまで8年目を迎えます、やはり直営館ではない特徴と特色を出しつつ、いろいろ先生方から御審議いただいたり、貴重な御意見をいただきましてありがとうございます。今後ともまた、よろしくお願ひいたします。

國分委員長      ありがとうございます。

鈴木東分館長      東分館の鈴木です。いろいろとありがとうございました。私は、やはり中長期計画をしっかりと考えて、これから少しでもその内容に近づけるように頑張っていければなというふうに思っています。ありがとうございます。

國分委員長      よろしくお願ひします。

山崎緑分館長      緑分館、山崎です。私も4月から緑分館の分館長をやらせていただきまして、何も分からない中だったんですけども、皆様にいろいろと教えていただきながら、考える機会を与えていただいてここまでやってこられたと思います。どうもありがとうございます。

國分委員長      ありがとうございます。よろしくお願ひします。

中川さん、いろいろお世話になりました。

中川庶務係長      庶務係長です。平成30年度から公民館の配属になりまして、そこからずっと皆さんと御一緒に公民館中長期計画にがつり取り組んだなと思っております。本当に皆様ありがとうございます。

ここから先は具体的な事業に落としついたり、公民館ってこういうことのためにあって、公民館のいろいろな事業とか、公民館の活動がこの将来像のためにあるんだよねというようなことが分かりやすい公民館を目指したいなというふうに思っております。

第36期、継続していただける方はこれからもよろしく願いいたします。第35期までの方は、計画という形で公運審の考えを世に出ましたし、計画にはお名前も載っております。皆さんの成果物として使ってもらえたらなと思っております。

公民館はいつでもいろいろな事業をやっておりますし、ふらっと遊びに来ていただいて、呼び出していただければ覚えておりますので、これからもよろしく願いいたします。ありがとうございました。

國分委員長

よろしく願いします。全員の方にお言葉を賜りましてありがとうございました。言い残したというか、科学の祭典、ずっと開催できていないんですけども、それは引き継いでほしいなと思って。

中川庶務係長  
渡邊副委員長

庶務係長です。渡邊さん、科学の祭典はオンラインで決定ですよ。

今年もそうですね。宮地楽器ホールがワクチン接種の会場になったために使えなくなったということで、急遽、商工会館で行うということですよ。やはりオンラインでやるということです。

國分委員長

忘れないようにというか、ちゃんと次の方々に科学の祭典の話があったら参加していただきたいなと。お手伝い、もし人がいなかったらやります。

中川庶務係長  
國分委員長

ありがとうございます。

では、よろしいですか。これで、少し1時間ちょっと回りましたけれども、どうもありがとうございました。また、皆様、お元気で。ありがとうございました。

— 了 —